

復興ニ関スル請願ノ件外十二件ヲ審
査スルニ右請願ニ對スル各大臣ノ意見ハ
孰レモ相當ノ儀ト認メラルルニ付請議ノ
通閣議決定相成然ルベシ

例
文 指令案

見出 番號	件名番號	請議大臣	件名	意見概要
一	衆乙七八	文部大臣	漢學復興ニ関スル 請願ノ件	漢學ヲ振興シテ東洋思 想ノ特質ヲ理解スルニ カメ以テ興亞精神ヲ發 揚シ日本世界觀ノ確立 ニ資スルハ現下極メテ肝要 ナル事項ナリト思料セラル ルヲ以テ諸種機關ヲ通 シ漢學ノ普及ニ努メウ ツアリ尚今後共請願ノ 趣旨ニ副フ様努力致度
二	衆乙八〇	文部大臣	經度ノ改正ニ関スル 請願ノ件	慎重考究セントス

三	衆乙八二	内務大臣	孝子祭制定並孝子 追賞ニ関スル請願 ノ件	孝子祭日ヲ全國畫一的 ニ制定スルコトハ現行國 家ノ祝祭日トノ關係上 慎重考究ヲ要ス 孝子追賞ニ関シテモ研 究中ナリ
四	衆乙五三	文部大臣	和學復興ニ関スル 請願ノ件	請願ノ趣旨トスル教學ノ 振興ハ大東亞建設ノ歴 史的使命達成上其根 基ヲ培フ所以ニシテ現下喫 緊ノ要務ナルヲ以テ諸種 機關ヲ通ジ我が國教學 ノ本義ノ徹底ヲ期シツツアリ 一段ト其振興ニ努力致度

七	衆乙二〇	農林大臣	水産食糧ノ生産増 強ニ関スル請願ノ件	戰時下水産物ノ重要性ニ 鑑ミ漁業生産資料ノ情 況ヲ勘案シ漁業生産ノ 計畫化ヲ圖ルト共ニ内水 面及淺海増殖施設ノ擴
六	衆乙三九	文部大臣	徳島市ニ帝國大學 開設ノ請願ニ関スル 件	財政其ノ他ノ關係等ニ 稽ハ相當考慮ヲ要ス ルモノト認ム
五	衆乙五六	文部大臣	鹿兒島市ニ科學博 物館設置ノ請願ニ 関スル件	財政其ノ他諸般ノ事情 ニ徴シ高考究ノ要アリ ト思料セラル
見出 番號	件名番號	請議大臣	件名	意見概要

充ニ努メ地面漁船造船能力ノ増大ヲ図ル爲計畫建造ヲ實施シ以テ生産力ノ維持増強ヲ図リツツアリ

水産物ノ公定價格ニ関シテハ深甚ナル注意ノ下ニ適正ナル改訂ヲ圖リ又水産物ノ圓滑ナル配給機構ノ整備改善ニ努力シ以テ國民榮養食糧確保ニ遺憾ナキヲ期レツツアリ

見出 番號	件名番號	請議大臣	件名	意見概要
八	衆ニ六一	農林大臣	水産食糧ノ生産増強ニ関スル請願ノ件	同前
九	衆ニ六八	農林大臣	水産團體統合斷行ニ関スル請願ノ件	既存水産業團體ノ統合整備ハ急速ニ實現ヲ見ル豫定ナリ
一〇	衆ニ三三	農林大臣	苫前村建網統數増加ニ関スル請願ノ件	北海道廳長官ヲシテ適宜ノ處置ヲ採ラシメントス

一 衆 一〇七 農林大臣	離農防止ニ関スル 請願ノ件	國民動員計畫ニ於テ 極力農業勞力ノ確保ニ 努メ、農業生産ニ必要 ナル農業者ニ就イテハ農 業生産統制令ノ運用ニ 依リ之ヲ農業ニ止メルノ 措置ヲ採ルト共ニ、共同 作業、移動労働、勤勞 奉仕等ノ實施ニ依リ 勞力不足ヲ克服シツアリ。 尚農家ノ安定ヲ圖リ離農 防止スベキ方策トシテハ自 作農創設事業ノ強化、 農業保險事業ノ擴充等 各般ノ施策ヲ考慮シアリ。
-------------------------	--------------------------	---

見出 番號	件名番號	請議大臣	件名	意見概要
一二	衆 乙二五	農林大臣	八色原ヲ農地開發 指定地ニ編入ノ請願 ニ関スル (新潟縣)	請願地區ノ開發ニ付 テハ目下農林省ニ於テ 調査中ナリ、其ノ結果ニ 依リ昭和十九年度以降ニ 於テ相當考慮セントス
一三	衆 七〇	商工大臣	軍需物資材製作木 工場新設ニ関スル請 願ノ件 (北海道) 留萌町ニ軍 部指定ノ軍需自動車 又ハ重要兵器等ニ	

確立ニ資スルハ現下極メテ肝要ナル事項ナリト思料セラル
文部省ニ於テハ豫テコノ點ニ留意シ中等學校ニ於テハ我カ國及支那ノ
學賢、偉人、烈士等ノ漢語文等ヲ漢文教材トシテ採用シ之ヲ通シテ東
洋本來ノ思想ノ把握ニ資スルト共ニ高等學校大學預科ノ古典科人文科
等ニ於テハ東洋古典ヲ諳シ其ノ仙道義歷史哲學等ノ學科ニ於テモ儒學
等ニ關スル道德思想ヲ諳シ其ノ特質ヲ理解セシムルニ力メツツアリ又
本省ニ設置セラレアル日本諸學振興委員會ノ哲學會ニ於テ漢學關係ノ
研究發表等ヲモ行フ外其ノ研究報告並發學局雜誌ニ係ル日本精神叢書
教學叢書等ニ於テ漢學及東洋思想ニ關フルモノヲモ編輯シ其ノ普及ニ
努メツツアリ尙今後共請願ノ趣旨ニ副フ様努力致度

右閣議ヲ請フ

昭和十八年七月十九日

文部大臣 子爵 岡 部長

内閣總理大臣 東 條 英 機 殿



意見書

請願文書表第一〇九號

昭和十八年二月二日呈出

(請願特別報告第七七號)

漢學復興ニ關スル請願

請願者 神奈川縣川崎市上小田中五百六十三番地 農業 妹尾勝太

紹介議員 坂東幸太郎君

右請願ノ趣旨ハ我カ國文化ノ發達ニ大ナル貢獻ヲ爲シタル漢學ヲ復興シテ日華提携ニ資スル爲
諸般ノ方途ヲ講セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及御送付候也

昭和十八年 三月二十五日

衆議院議長 岡田 忠彦

衆
乙
七
八

内閣總理大臣 東條英機殿

衆議院書記官長 大 一 木

操



二

官科一八號

經度ノ改正ニ關スル請願

衆議院ニ於テ議決セラレタル經度改正ノ請願ニ關スル件左記ノ通
ニ付右閣議ヲ請フ

昭和十八年七月十六日

文部大臣 子爵 岡 部 長

内閣總理大臣 東 條 英 機 殿



衆議院

記

一、請願人 島根縣安濃郡久手町 竹

下 匡 三

二、請願ノ趣旨

大東亞共榮圈建設ノ基礎確立シ世界情勢ニ一大變革ノ行ハレントス
ルノ秋海洋發展ニ重要ナル關係ヲ有スル經度力敵英國「グリニツチ」
一大文臺ヲ通過スル子午線ヲ起點トシテ測走セラルルハ適當ナラス
且共榮圈內ニ於ケル日付算定上多大ノ不便アリ依テ速カニ現行ノ經
度測定方法ヲ廢棄シ東京中央大文臺ヲ通過スル子午線ヲ起點トスル
經度測定方法ヲ採用セラレタシト謂フニ在リ

三、右ニ對スル意見

大東亞共榮圈建設ノ基礎確立シ世界情勢ニ一大變革ノ行ハレントスル
ノ秋本初子午線トシテ英國「グリニツチ」一大文臺子午儀ノ中心ヲ經
過スル子午線ヲ廢棄シ東京都麻布區飯倉町東京天文臺太子午儀ノ中
心ヲ經過スル子午線ヲ採用セントスル其ノ趣旨ハ政府ニ於テモ諒ト
スルトコロナルモ之ニ就テハ曆ノ編纂、經度ノ決定、時ノ測定等ニ
當リ相當ノ準備ヲ必要トシ急速ナル實行ハ種々ノ困難ヲ生ズルノミ
ナラズ假リニ我國單獨ニテ本初子午線ヲ改變スルトスルモ獨逸、伊
太利等盟邦諸國モ亦同時ニ之ヲ採用スルニ非ザレバ學術的連絡ニ當
リ二重ノ手數ヲ要シ却ツテ其ノ意義ヲ失フコトトナルヲ以テ同慎重

意見書

請願文書表第一〇四號

昭和十八年二月二日呈出

經度ノ改正ニ關スル請願

請願者 島根縣安濃郡久牛町十番地 竹下匡三

紹介議員 平川松太郎君

右請願ノ趣旨ハ大東亞共榮圈建設ノ基礎確立シ世界情勢ニ一大變革ノ行ハレントスルノ秋海洋
發展ニ重要ナル關係ヲ有スル經度力敵英國「グリニツチ」天文臺ヲ通過スル子午線ヲ起點トシテ
測定セラルルハ適當ナラス且共榮圈内ニ於ケル日付算定上多大ノ不便アリ依テ速ニ現行ノ經度
測定方法ヲ廢棄シ東京中央天文臺ヲ通過スル子午線ヲ起點トスル經度測定方法ヲ採用セラレタ
シト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依

衆
乙
八〇

(請願特別報告第七九號)

リ別冊及御送付候也

昭和十八年 三月二十五日

内閣總理大臣 東條 英機殿

衆議院議長 岡田 忠彦

衆議院書記官長 大木 操

官教六一號

孝子祭制定並孝子追賞ニ關スル請願ノ件

五月一日附内閣衆乙第八二號ヲ以テ御回付ニ係ル標記ノ件ハ左記ノ通
ニ付右議ヲ請フ

昭和十八年七月十三日

文部大臣 子爵 岡部長景

内務大臣 安藤 紀三郎

内閣總理大臣 東條 英機殿

文化ニ關スル研究ヲ掌リ指導及普及ノ實施ヲ行ハシムルト共ニ本省ニ日本諸事振興委員會ヲ設置シテ各學會ヲ開催シ國體ノ本義ニ基テ我國獨自ノ學問、文化ノ創造發展ニ寄與シ來レリ又東京、京都兩帝國大學、東京、廣島兩文理化大學等ニ國體ニ關スル講座、學科目等ヲ設置シ、神宮皇學館大學ヲ創設シテ新學ノ振興ヲ圖リ又國民學校教育、中等教育、高等專門教育及師範教育ノ全般ニ亘ル教育ヲ改革シ學徒ヲシテ皇國ノ道ヲ修練セシメ、國體ニ對スル信念ヲ確把セシムルニ努メ尙又廣ク教學ノ刷新ニ資スル目的ヲ以テ從來「國體の本義」「臣民の道」「國史概説」等ヲ編纂刊行シ、昭和十八年度以降更ニ詔勅ノ編輯、古典ノ編修、國史ノ編修等ヲ行ヒ以テ我が國教學ノ本義ノ徹底ヲ期シツベキアリ

本請願ノ主旨トスルトコロニ付テハ如上ノ諸事業ノ振作ヲ圖リ一段ト其ノ振興ニ努力致度
右閣議ヲ請フ

昭和十八年七月十四日

文部大臣 子爵 岡部長景



内閣總理大臣 東條英機 殿

意見書

請願文書表第二四七號

昭和十八年二月十七日呈出

(請願特別報告第一五二號)

和學復興ニ關スル請願

請願者 三重縣北牟婁郡尾鷲町大字矢ノ濱五百十九番地 齒科醫師 岡村齋次郎

紹介議員 川崎 克君

右請願ノ趣旨ハ八紘爲宇ノ大理想ヲ實現シ今次聖戰ヲ完遂スル爲和學ヲ振興スルノ要アリト信
ス依テ速ニ和學ノ復興ヲ圖ラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及御送付候也

昭和十八年 三月二十五日

衆議院議長 岡田 忠彦



四 計畫生産ノ徹底化ニ關スル施設ノ強化

五 内水及淺海ニ於ケル増殖施設ノ擴充

六 配給機構ノ整備及之ニ伴フ公定價格制度改善ノ斷行

右貴族院ハ題意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決セリ

右ニ對スル意見

戰時下水産物ノ重要性ニ鑑ミ政府ハ漁業生産資材ノ情況ヲ勘案シ漁業生産ノ計畫化ヲ圖ルト共ニ内水面及淺海増殖施設ノ擴充ニ努メ他面漁船造船能力ノ増大ヲ圖ル爲計畫建造ヲ實施シ以テ生産力ノ維持増強ヲ圖リツツアリ

尙水産物ノ公定價格ニ關シテハ深甚ナル注意ノ下ニ適正ナル改訂ヲ

小察納

日本標準規格 B-4

圖リ又水産物ノ圓滑ナル配給機構ノ整備改善ニ努力シ以テ國民榮養食糧確保ニ遺憾ナキヲ期シツツアリ

右閣議ヲ請フ

昭和十八年七月廿一日

農林大臣 山崎 達之



ク敢テ是レガ急速ナル實施ヲ要望スル所以ナリ
右衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セ
リ
右ニ對スル意見
第八十一回帝國議會ニ於テ成立ヲ見タル水産業團體法ハ不日施行ノ
見込ニシテ本法施行ニ伴フ既存水産業團體ノ統合整備ハ急速ニ實現
ヲ見ル豫定ナリ
右閣議ヲ請フ

昭和十八年七月十九日

農林大臣 山崎 達之輔



小 藥 納

日本標準規格 B-4

内閣總理大臣 東 條 英 機 殿

農 林 省

